

高等教育機関教職員のための 人材育成プログラム

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜では、加盟機関の教職員を対象とした「人材育成プログラム」を開催いたします。皆さんと共に学び、その成果を日常業務で活用できるよう、高等教育機関が抱える様々な課題や最近のトピックに関する内容を準備いたしました。

教職員の皆さん一人ひとりが輝き、より良い大学運営が成されるように、多くの方のご参加をお待ちしております。

FD

第1回 5月17日（金）

IR推進の為にIR実践事例と授業マネジメント

荒木 俊博（淑徳大学大学改革室主任）

第2回 6月14日（金）

URAとの連携事例から考える事務職員の役割とその実践

花岡 宏亮（大阪大学共創推進部社会学共創課社会学共創係長）

第3回 9月27日（金）

中小規模大学で取り組むアクティブラーニングの理論と実践

原 圭寛（湘南工科大学工学部総合文化教育センター・教職センター講師）

第4回 10月18日（金）

大学の危機管理～事例から考えるハラスメント～

吉田 一恵（愛媛大学教育学生支援部愛媛大学SD統括コーディネーター/能力開発室長）

第5回 11月15日（金）

障害を持つ学生に対し職員ができる支援を考える2

船越 高樹（京都大学学生総合支援センター特定准教授）

参加申込方法

各回とも、加盟機関を通じ参加希望者を募ります。

遠隔配信やインターネットによるe-Learningをご希望の方は、開催7日前までにお申し出ください。

開催時間：14:00～16:00

開催会場：岐阜大学柳戸キャンパス全学共通教育棟（岐阜市柳戸1-1）（裏面参照）

お問合せ先：ネットワーク大学コンソーシアム岐阜事務局 連絡先

TEL:058-212-0393 FAX:058-212-0391 メールアドレス:info@gifu-uc.jp HP:http://www.gifu-uc.jp/

2019年度人材育成プログラム

第1回 5月17日（金）IR推進の為にIR実践事例と教学マネジメント

IR活動を大学で組織として推進していくためには、何をしたらいいでしょうか？ IR活動は大学が持つリソースの規模や組織に応じて、参考となる事例も異なります。本講演では、小規模や中規模の大学がIR活動を推進していく為、中規模大学がどうやってIRに取り組んできたかを、IRの実践事例及び失敗事例や、IRを推進するための教学マネジメント事例を交えながらお話しします。

第2回 6月14日（金）URAとの連携事例から考える事務職員の役割とその実践

近年、大学運営の一層の改善・充実に向けて、事務職員が単なる事務処理する役割のみに留まるのではなく、教員と事務職員の垣根を越えた教職協働が必要とされています。その際に意識すべき事務職員の役割はどのようなもので、その役割を果たすためにどのように業務に取り組んでいけばよいでしょうか。講演者がこれまでURA（University Research Administrator）と連携して教育研究プロジェクトの推進に取り組んできた事例を踏まえ、今後事務職員に求められる役割やその実践についてお話しします。

第3回 9月27日（金）中小規模大学で取り組むアクティブラーニングの理論と実践

今や行うことが当然となってきた「アクティブ・ラーニング」ですが、もともとこの取り組みは、大規模大学におけるいわゆる「マスプロ教育」に対する批判と共に登場しました。従って書籍等で紹介される取り組みも大規模大学向けのものが多く、中小規模大学ではまた違った「アクティブ・ラーニング」の解釈と方法が必要となってきます。こうしたポイントについて、カリキュラム史研究の知見に講演者自身の小規模大学での実践例を交えながらお話しします。

第4回 10月18日（金）大学の危機管理～事例から考えるハラスメント～

本プログラムでは、大学等において、今、身近にあるハラスメントについて説明すると共に、なぜハラスメントが無くならないのか問題提起します。そして複雑かつ多様化するハラスメントについて、具体的事例を挙げながら、「ケースメソッド」により省察し、①ハラスメント認定のポイント②ハラスメントが起きた場合の対処方法③ハラスメント「施策」を導きだしていきます。

第5回 11月15日（金）障害を持つ学生に対し職員ができる支援を考える2

障害者差別解消法の施行に伴い、岐阜県内の大学等においても障害を持つ学生への支援に取り組んでいかなければなりません。そんな中で、教育活動や就学支援・生活支援・就職支援など、日頃の業務において大学職員がどのような支援に取り組めるのか、昨年度に引き続き、実際にあった事例への対応方法等を学びながら、ともに考えてみましょう。※昨年度受講していなくとも本年度の受講に影響はありません。

会場案内図

